

町会・自治会だより

しかはま

- 鹿浜地域で多文化共生
- 100年ぶりの新宮
- 「宝くじ」あなたに夢を。街に元気を
- 鹿浜地区新春の集い開催
- 北鹿浜小学校50周年
- 鹿浜すこやかネットワーク
- 輝け、鹿浜未来小!
- 連合運動会について
- スマホで広がる地域の輪
- 6年前の防犯カメラと今
- 上沼田第三アパート建て替え
- 横田会長が藍綬褒章受章
- 公園散歩・伊興遺跡公園
- 編集後記

主催・発行／足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会
 編集／編集委員会
 足立区鹿浜6-8-1 鹿浜区民事務所内
 TEL 03-3853-2301

しかはま ちいき たぶん かきょうせい 鹿浜地域で多文化共生

スマホとやさしい日本語で

最近、外国人の方とお話することが増えました。外国人の方々のコミュニケーションをとる時には「『やさしい日本語』で話しましょう」とよく言われます。「やさしい日本語」をこころがけ、写真やイラストなどを併用するのも有効です。



それでもなかなか伝わらないことがあります。そんな時私は、文明の利器に頼ります。最近の翻訳機やスマホの翻訳アプリはとても優秀で、言語も多岐にわたります。英語なら、ゆっくり・アメリカ英語・イギリス英語と種類があったり、ネパール語、ウクライナ語などもあります。

それでも、同音異義語が翻訳できなかったり、うまく翻訳できないことがあります。その時は、「やさしい日本語」のポイントを思い出します。

話すときはゆっくり、はっきりと話す。文章は短く、一文で一つの情報を伝える。主語を明確にし、二重否定やあいまいな表現は避ける。



これらのポイントは、普段の話言葉を「やさしい日本語」に変えるためのポイントですが、翻訳機にも有効です。伝えたい事が、うまく伝えられた時は、お相手の方と一緒に喜んだりして、さらにお互いの距離が近づいたように感じることができます。

みなさんもぜひ、お試してください。

(編集委員 豊岡 多恵子)

100年ぶりの新宮 おしべ はちまん 押部八幡神社



▲押部八幡神社上棟式。「わが家にも福を分けてくださいーい」と手を伸ばす氏子の皆さん

▼かりせんざしき
仮遷座式。
2022年5月2日夜に行われた



押部八幡神社の御社が建て直しされ、御遷宮記念式典が令和4年12月18日に執り行われました。前日から夜中過ぎまで雨で天気が心配されましたが、当日は朝から快晴のまさに御遷宮日和となりました。神事、巫女さんによる奉納舞、地元のお囃子、獅子舞もあわせて奉納され厳かな式典となりました。

八幡神社の起源や代々の社殿が造営された年月は残念ながら資料がなく分かりません。ただ旧社殿は大正12年9月1日の関東大震災により壊れその後建て直されて昭和6年に御遷宮の式典が執り行われたとの記録がありますので、ほぼ100年ぶりの御遷宮となります。

上棟式では絶えて久しい「餅まき」「銭まき」を行いました。「楽しかった」「はじめて経験した」「いっぱい拾えた」「子どもの頃を思い出した」などのお声をいただき、多くの人に福を拾っていただきました。

境内は従前より広くなり、小砂利を敷き草が生えに

くくなるよう整備されました。これからも地元のみなさんが折にふれ参拝していただける八幡様にするべく努めてまいります。

(八幡神社建て替え 実行委員長 矢萩 敏隆)



◀旧社殿の鬼がわら。恐いばかりでなく、愛嬌のある表情で長い間、押部町会を守っていただきご苦労さまでした

🔑 「宝くじ」～あなたに夢を。街に元気を。～



▲修繕してきれいになった山車



▲大人神輿

椿町会の起源としては、時代の特定は不明なるも当時の江戸城の改築などに携わっていた職人・作業員が宿舎として生活の拠点としていたところであり、現在の椿町会会館の前身にあたります。同じ時期に宿舎の責任者（親方）が地域の繁栄・仕事の無事を願い、江戸城の鎮守であった麴町日枝神社に分院を申し出、椿日枝神社の建立が認められたと言われております。



椿町会は昭和 39 年に発足、その前年に地元の名士から山車の寄贈があり、当時は輪踊りや山車の町内巡行など盛大に行われたそうです。しかし、そのような活発な催しも時代の波にさらされ風前の灯ともいえる状況になりました。

平成 29 年の東椿公園での輪踊り大会の復活を期に、地元有志が協力して子ども神輿を寄贈、また「一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業」により大人神輿の購入が実現でき、同時に祭礼実行委員会も発足し、にぎわいを取り戻すことができました。しかし、ここでまたコロナ禍の影響で祭礼等の行事は全て開催ができない状況になってしまいました。

今年こそは祭礼等が実施できるようになることを願い、令和 4 年度に再度「コミュニティ助成事業」の助成を受けることができました。およそ 60 年ぶりに山車、太鼓の修繕を行うことができました。

「一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業」は、「宝くじ」の社会貢献広報のために地域のコミュニティ活動や地域文化活動、活気ある地域づくり活動などに対して助成する制度です。

最後になりますがこのような「コミュニティ助成事業」の助成を受けられましたこと、また事業の実施にあたりご協力いただきました皆様に厚く感謝し、お礼の言葉とさせていただきます。（椿町会 副会長 林 俊二）

🔑 鹿浜地区新春の集い開催

令和 5 年 1 月 16 日（月）に鹿浜町自連と鹿浜地区対共催の鹿浜地区新春の集いが鹿浜いきいき館で 3 年ぶりに開催されました。

今年は、懇親会は行わず挨拶会での開催でしたが、久しぶりにお互いに顔を合わせて新年のあいさつを行い、それぞれの団体を越えて交流することができました。

また来賓として、大山日出夫教育長、たがた直昭区議会副議長、鹿浜昭区議会議員から新年のご挨拶をいただくことができました。



▲新春の集い出席者

最後に久しぶりの新春の集い開催を記念して、出席者全員で集合写真を撮影しました。

横田夏夫鹿浜町自連会長からのご挨拶で「コロナ禍で地域活動が停滞してしまっているところではありますが、この新春の集いが地域のつながりを取り戻すきっかけとなればと思います」とありましたとおり、今年こそは鹿浜町自連と鹿浜地区対と手を携えて、活気のある鹿浜地域が取り戻せることを願います。

北鹿浜小学校創立50周年



▲学校長あいさつ



▲区長による祝辞



▲5・6年生の児童によるお祝いの歌



▲UnRealProjectミニコンサート

令和4年11月12日(土)、北鹿浜小学校において創立50周年記念式典が挙行了されました。

コロナ禍ということで、式典のみとなりましたが、総勢172名の関係各位にご出席いただき、和やかな雰囲気の中、滞りなく終えることができましたことに、心より感謝し厚く御礼申し上げます。

令和3年7月に実行委員会を立ち上げ、鹿浜昭実行委員長のもと準備をしてまいりました。協賛いただきました地域・団体の方々にも深く御礼申し上げます。

式典では、5・6年生によるお祝いの歌があり、近藤やよい区長、たがた直昭区議会副議長、協賛会会長である矢萩恵一鹿浜島町会長からご祝辞をいただきました。

最後に「UnRealProject(アンリアルプロジェクト)」によるミニコンサートが行われました。

北鹿浜小学校は、鹿浜小学校の分校として設立され、昭和48年4月に開校しましたが、令和5年3月31日をもって閉校となり、鹿浜西小学校との統合によって、4月1日より「鹿浜未来小学校」となります。

長きにわたり地域の皆様とともに歩んできた学校が無くなることに、一抹の寂しさはありますが、統合校の新たな門出を祝すとともに、未来を担う子どもたちに「未来小」の未来を託し、今後の更なる発展と地域の皆様方に愛される学校になることを祈念しています。

(青少年委員 北鹿浜小学校担当 渡邊 淳子)

鹿浜すこやかネットワーク

「わたしたちの伝えたいこと」聞いてみよう！ 子どもたちのメッセージ！ ～ 発表テーマ「夢の実現に向けて～今、思うこと～」 ～

コロナ禍のため開催できていなかったすこやかネットワークですが、令和4年10月15日(土)に鹿浜西小学校にて3年ぶりに開催することができました。

当日は、山田勉青少年課長からごあいさつ、小関朝之教育委員からご講評をいただきました。

開催にあたりましては、青少年委員会12ブロックの青少年委員、共催の足立区青少年対策鹿浜地区委員会をはじめとして、会場校の鹿浜西小学校の教職員・PTA、鹿浜区民事務所の職員、各小中学校で発表児童・生徒のご指導にあられた教職員や保護者の皆様など多くの方々からのご協力により、発表会は成功裏に終えることができました。

児童・生徒の皆さんも「夢の実現に向けて～今、思うこと～」をテーマにがんばって試行錯誤しながらも自分の意見をまとめ、発表の練習を重ねて、当日は素晴らしい発表をしてくれました。

子どもたちの将来の夢に向けたまっすぐな発表を聞いていると、我々大人たちも励まされる思いがしました。



▲発表した児童・生徒のみなさん

鹿西小担当の高橋 進青少年委員からごあいさつ

この度の開催にあたり、まずは会場校である鹿浜西小学校の山下校長先生をはじめ教職員の皆様、PTA役員の皆様、保護者の皆様には御礼申し上げます。

そして各校を代表して発表した9名の児童・生徒達にも御礼申し上げます。

コロナ禍で生活や価値観が一変してしまい、教育環境もリモート授業など先生や友達と接することが難しい中、夢に向かって努力することの発表はみんな堂々として大変頼もしく感動しました。

来年度からは鹿浜西小学校と北鹿浜小学校が統合し鹿浜未来小学校が新しく開校いたします。

今後も地域全体で子ども達が明るい未来を持てるよう寄り添い見守り、活躍の出来る場を企画していきたいと思えます。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

(青少年委員 鹿浜西小学校担当 高橋 進)



▲浅香一浩12ブロック長



▲浅香孝子地区対会長より感謝状



▲保護者をはじめとする聴衆



▲インタビュー・横山良和青少年委員



▲高橋進青少年委員

(注) 鹿浜すこやかネットワークとは

地域の子どもの健全育成に関わる大人が地域支援のネットワークを結ぶことにより、子どもたちにとって安心で楽しく過ごせるやさしい「まち」をつくっていかうという趣旨で青少年委員12ブロックが始めた取り組みです。今年で28年目となります。

子どもたちのメッセージ発表、「わたしたちの伝えたいこと」聞いてみよう！ 子どもたちのメッセージ!は、平成16年から始めた取り組みで、今年で19年目となります。

輝け、鹿浜未来小！

毎日のように通っている建設中の建物の覆いが、今日は外されていました。見上げると、「足立区立鹿浜未来小学校」の文字が青空にまぶしく浮き上がっていました。

まだまだ先のことと思っていた新校の完成が目の前まで来たという感動で、なんだかワクワクする気持ちになりました。約3年前から立ち上げた「北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会」も、いよいよ終盤にさしかかってきたという実感さえ湧き上がってきました。

懸案の校歌案も昨年中に選定し、親しみやすく明るい曲と歌詞ができました。校旗、校章、校歌、校帽と数々の新しいものを、委員の意見を大きく反映しながら決めていき、あとは内覧の日を待つばかりとなりました。

両校の児童たちも母校との別れをそれぞれのイベントに託し、新しい学校への夢につなげていっております。この新しい鹿浜未来小学校が身心ともに健全な子どもに育ててくれる館となるよう願って止みません。

(北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会
会長 野辺 陽子)



▲完成間近の鹿浜未来小学校

鹿浜未来小学校校歌
作詞・作曲 佐々木 祐子

一

無限にひろがる青い空
あふれる緑とそよぐ風
豊かに流れる荒川
それがみんなのまち 鹿浜
さあ歩きたさう まっすぐな心もって
未来に向かって どこまでも
はばたこう 鹿浜未来小学校

二

輝く笑顔の仲間たち
優しくきびしい先生
出会ったすべてが宝物
この絆でみんな つながる
さあ走りださう あたなかな心もって
未来に向かって 力合わせ
共にゆこう 鹿浜未来小学校

▲鹿浜未来小学校の校歌(案)

連合運動会 …… 令和4年度はコロナ禍で中止となりました。

18 町会自治会に連合運動会を開催するかどうかのアンケートをとったところ、まだコロナが収まっていない状況であったため反対10票、賛成が8票となり、中止となりました。話し合いの中では、会場が遠い、

会員に高齢者が多く競技に参加できないなどの課題が示されました。

今後も鹿浜地区の町会自治会で話し合いをしていくことになりました。

スマホで広がる地域の輪



令和4年度は、1932年(昭和7年)に足立区が誕生してから90年の節目の年にあたります。区では、90周年を記念して様々な取り組みが行われました。

その中でも足立区初のキャッシュレス決済を活用した「**祝**キャッシュレス還元祭de90周年事業」のために、初めてスマホでPayPay(ペイペイ)決済をやってみた方も多くいらっしゃると思います。

スマホには電話だけでなく、PayPayをはじめとするキャッシュレスサービス、LINE(ライン)やTwitter(ツイッター)、Instagram(インスタグラム)、Facebook(フェイスブック)などのSNS(ソーシャルネットワークサービス)、様々な動画が視聴できるYouTube(ユーチューブ)など便利なアプリがたくさんあります。

これからは町会・自治会の顔が見える関係にプラスして、SNSなども地域の交流に活用していきたいですね。

6年前の防犯カメラと今……。 - 今年も AED を導入 -

今から6年前、最初の2台の防犯カメラを設置した際は、東電やNTT、区道・都道等数枚の許可申請書の作成方法が分からず、自前でポールを民有地に建てました。その都度支払いはいったん個人が立て替え、町会・区の補助金で支払うといったお金の流れも業者に振り回され、ドタバタ劇で電気代など1年間担当者が自腹で払うという有様でした。

今は業者がすべて代行してくれ、令和4年度は13台の防犯カメラを設置しましたが、今思い出しますと無我夢中のあの頃が懐かしくなります。

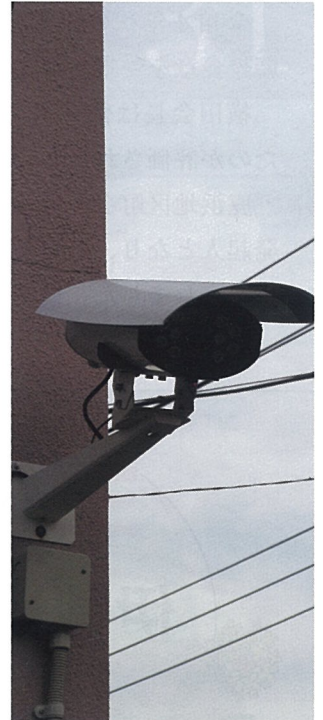
また今年度はAEDを購入しました。防犯カメラの二の舞にならぬよう慎重に事を運んでいます。一家に一人が自信をもって使えるようになりましたら、防犯カメラ同様にAEDも10台まで増やしていき、町会員以外の利用や近隣町会との連携を考えています。

これからは町会の組織を活かしながらも個人が直接社会貢献できるような町会運営を目指していきます。さらに町会のやる気度を理解していただき、町会員の減少に歯止めがかかることを希望しています。

(鹿浜押部町会 会長 小宮 功)



▲防犯カメラ設置を知らせるステッカー



▲鹿浜押部町会の防犯カメラ

上沼田第三アパートの建て替え — 新しい棟への入居が始まりました —



▲新しく建て替えられた団地

江北七丁目にある団地上沼田第三アパートですが、建て替え計画が進み、このたび新しく1号棟・4号棟東・4号棟西・5号棟が完成しました。

名称も「都営江北七丁目アパート」となり、今年1月から入居が始まりました。

新しい部屋は設備も新型になり、エレベーターもあ



り、前の部屋と比べて快適になりました。

集会所も新しくなりましたので、カーテンや机・イスなど、一からそろえなくてはいけないのが大変です。新しい集会所でも、自治会活動や皆が楽しみにしているカラオケなどを開催していきたいと思えます。

(上沼田第三アパート自治会 会長 大滝 圭三)

横田夏夫会長が藍綬褒章受章

令和4年秋の叙勲・褒章で、横田夏夫鹿浜町自連会長が藍綬褒章を受章されました。

横田会長は保護司を23年間(1999年就任)立派に勤められたのが評価されたものです。

鹿浜地区町会・自治会連絡協議会では、野辺愼一副会長が発起人となり、各会長及び鹿浜区民事務所より祝金を集め祝意を表しました。横田氏は現在、足立区保護司会副会長。

(編集長 野辺 愼一)



▲野辺副会長より横田会長にお祝いをお渡ししました

公園散歩 伊興遺跡公園

伊興七曲り、寺町の一角に遺跡公園はありました。1993年(平成5年)に開園されました。

古墳時代の竪穴住居、当時の生活の様子が再現されていました。衣服に使われている織物に感心してしまいました。

縄文時代の土器のかけらも多数、その他にも鉄製品、神事に使う鏡、勾玉、剣など発掘されていました。

土器も見事に復元されて、大勢の方の労力で時空を経て展示館が開設されたのですね！

(編集委員 江川 せつ子)



▲復元された土器の展示



▲住居の中の古代人の生活を再現



▲竪穴住居の模型

編集後記

▶2020年1月、新型コロナの感染者が発覚し、それ以来日に日に感染者が増大し各地域のイベントや行事などの催し物が次々と自粛され、間もなく3年が来る。

「しかはま町会自治会だより」31号も記事作りに皆苦労した。

ロシアがウクライナに侵攻、インフラ攻撃が止まらず各国の貿易に支障が生じ、石油、食料品の多くが値上がり、一般家庭を直撃して厳しい生活に追い込まれている。

その中でサッカーワールドカップでは、日本がドイツ、スペインの強豪を倒し、日本国民に感動を与えてくれた。

2022年も残り少なく年越しが来る。行動制限のない年末にはふる里への帰省や旅行等で人の動きが増大する。年が明けた元日には実業団駅伝、2日3日は関東の大学の箱根駅伝がある。ここでもまた見物応援のため人が集まり集団ができる。帰省戻りの混雑も重なりまたまたコロナ感染が心配だ。

鹿浜地区にも楽しいイベント行事はたくさんある。2023年こそこれらを実施、実現できる年となり我が町会自治会が活気あふ

れるにぎやかな楽しい街に戻ることを願いたいものである。

*2022年年末に記す。

(編集委員 坂井 孝夫)

▶私は歴史が好きである。特に日本史。どの時代といった区別はなく、すべてが楽しく興味深い。今、自分が生きているのも偶然ここにいるだけでなく、そうした長い歴史の延長線上にあると考えたい。そこから見えてくる私的な歴史観も面白い。歴史観を歪曲しない注意を新聞を読んだりして日々怠りなく繰返すのもわが認知症対策の一つだ。

鹿浜いきいき館で歴史教室がある。興味のある方はぜひお立ち寄りいただき、日本、関東、東京、足立、鹿浜の長い歴史をともに語り勉強したいものである。

(編集長 野辺 愼一)

編集長 野辺愼一

副編集長 矢萩敏隆

委員 江川せつ子、坂井孝夫、豊岡多恵子、
増田寄雄、大滝圭三

事務局 鹿浜区民事務所地域担当係長 合田志津雄